

北山小学校出前授業『愛知用水と大府市の農業』

水土里ネット愛知用水

令和6年11月18日（月）に大府市立北山小学校の4年生の児童を対象とした出前授業を大府市役所農業振興課と共同で行いました。大府市では、市内で生産された伝統野菜を給食にとり入れたり、キッズ野菜ソムリエ養成講座を開催するなど子供たちに野菜・果物の魅力をPRしています。北山小学校の出前授業は、令和4年以降今年で2回目となります。

45分間の授業では、「愛知用水と大府市の農業」をテーマとし、前半15分間を水土里ネット愛知用水、後半15分間を大府市役所農業振興課による授業を行い、最後に質疑応答を行いました。

授業では、児童同士で相談しながらクイズに答えたり、愛知用水建設のもととなった当時の概要図をみて、感動の声を上げるなど、とても充実した授業となりました。

また後日行ったアンケートでは、「水は限られた資源でとてもすごく大切なんだと思った。」「愛知用水と農家が協力をしてみんなに食べ物を届けているんだと感じた。」「大府の農産物の旬をたくさん知りました。」など、愛知用水に対する意識が変わったり、大府市の農業に興味を抱いた児童が多くみられました。さらに、「小学校の周りの畑が減ってきており、若い人も農家をやっていかなければならないと思った。」との意見には心が熱くなりました。



愛知用水の授業風景



大府市の授業風景



加納理事のお話



概要図の説明